

ご存知ですか? 脳脊髄液減少症

のうせきずい えきげんしょうじょう
脳脊髄液減少症について



交通事故やスポーツ外傷等の後に、脳脊髄液が漏れ出して減少することによって、頭痛、頸部痛、めまい、不眠、記憶障がいなどの症状が現れるものです。事故後の後遺症として通常の学校生活を送ることに支障が生じているにもかかわらず、周りの人から単に怠慢である等の批判を受け、十分な理解を得られなかったなどの事例があるとの指摘もされており、不登校の中にもこの疾患が原因であるケースがあるのではないかともいわれています。

重症化の予防 水分補給と安静により重症化の予防が期待されます。

県内の相談機関、診断体制のある医療機関一覧

県内の相談窓口	東部福祉保健事務所(鳥取保健所)	鳥取市江津730	0857-22-5694
	中部総合事務所福祉保健局(倉吉保健所)	倉吉市東蔵城町2	0858-23-3143
	西部総合事務所福祉保健局(米子保健所)	米子市東福原1-1-45	0859-31-9317

県内の「脳脊髄液減少症」診断体制のある病院
(鳥取生協病院、中央病院、厚生病院、鳥取大学医学部附属病院)

鳥取県福祉保健部健康医療局健康政策課HP
<http://www.pref.tottori.lg.jp/87261.htm>

脳脊髄液減少症以外にも、病気等により学校生活に管理や生活制限が必要な子どもたちはたくさんいます。病気を正しく理解するためには、周囲の子どもたちをはじめ、教職員、保護者の方の理解と支援が必要です。病気があっても、一人一人が大切にされる学習環境をつくるためのご理解とご支援を今後とも引き続きお願いします。

問合せ先 県教委体育保健課 電話 0857(26)7527 FAX 0857(26)7542

平成28年夏、鳥取県でインターハイを開催します!

平成28年7月28日(木)から8月20日(土)の期間に中国5県でインターハイ(全国高等学校総合体育大会)を開催します。インターハイとは、心身ともに健全な青少年を育成することを目的とした、高校生最大のスポーツの祭典です。鳥取県では、「相撲」「弓道」「自転車(トラック)」「ホッケー」の4競技を開催します。

相撲	弓道	自転車(トラック)	ホッケー
会場 ココロエスポーツパーク 鳥取県民体育館	会場 鳥取県立武道館	会場 倉吉自転車競技場	会場 八頭高等学校 他
期間 8/3~8/5	期間 8/3~8/6	期間 7/28~7/31	期間 7/29~8/3

八頭高等学校ホッケー場の人工芝を新しくしました!!

ホッケーのメイン会場となる八頭高等学校ホッケー場の人工芝をインターハイ開催に合わせて全面張替を行いました。張替えた人工芝は、リオデジャネイロオリンピックのホッケー会場と同じものを採用しています。



(県立八頭高等学校ホッケー場人工芝更新事業)

八頭高等学校ホッケー場の人工芝張替は、「スポーツ振興くじ(toto)助成金」を活用して行っています。

問合せ先 県教委体育保健課 電話 0857(26)7522 FAX 0857(26)7542

お知らせイベントコーナー

事前申込が必要なものや集合場所が決まっているイベントもありますので、詳しくはお電話等でお問合せください。

開催期間	イベント名	時間	場所	問合せ先	その他
2月27日(土) 3月21日(月・祝)	企画展 シリーズ 鳥取の表現者 File.07 コウゲイノモリへ 探究する工芸家たち	9時~17時	県立博物館 特別展示室	県立博物館 電話:0857-26-8045 FAX:0857-26-8041	参加費用:一般/600円 前売り・団体/400円 休館日:なし
2月27日(土)	ギャラリートーク シリーズ 鳥取の表現者 File.07 コウゲイノモリへ 探究する工芸家たち	14時~15時	県立博物館 特別展示室	県立博物館 電話:0857-26-8045 FAX:0857-26-8041	参加費用:企画展観覧料 対象:高校生~一般 定員:なし 申込:不要
2月28日(日)	講演会 世界史からみた山陰の縄文時代 講師:山田康弘氏(国立歴史民俗博物館教授)	14時~15時30分	県立博物館 講堂	県立博物館 電話:0857-26-8044 FAX:0857-26-8041	参加費用:無料 定員:230名 申込:不要
3月5日(土)	アーティストトーク① シリーズ 鳥取の表現者 File.07 コウゲイノモリへ 探究する工芸家たち	14時~15時30分	県立博物館 特別展示室	県立博物館 電話:0857-26-8045 FAX:0857-26-8041	参加費用:企画展観覧料 対象:高校生~一般 定員:なし 申込:不要
3月12日(土)	アーティストトーク② シリーズ 鳥取の表現者 File.07 コウゲイノモリへ 探究する工芸家たち	14時~15時30分	県立博物館 特別展示室	県立博物館 電話:0857-26-8045 FAX:0857-26-8041	参加費用:企画展観覧料 対象:高校生~一般 定員:なし 申込:不要
3月13日(日)	歴史講座 伯耆往来を歩く 青谷~泊	10時~15時	JR青谷駅 (県政庁舎)~ JR泊駅(磯部町)	県立博物館 電話:0857-26-8044 FAX:0857-26-8041	参加費用:無料 対象:一般 定員:20名 申込:2月13日(土)から電話による受付
3月19日(土)	アートセミナー 工芸家たちが探究してきたもの	14時~15時30分	県立博物館 講堂	県立博物館 電話:0857-26-8045 FAX:0857-26-8041	参加費用:無料 対象:高校生~一般 定員:250名 申込:不要
3月26日(土)	美術部門テーマ展示V [絶対立体]関連ワークショップ オブジェをつくる	10時~15時	県立博物館 会議室	県立博物館 電話:0857-26-8045 FAX:0857-26-8041	参加費用:無料 対象:高校生~一般 定員:8名 申込:3月11日(金)から電話による受付
4月24日(日)	春の親子フェスティバル	9時~15時	大山青年の家	大山青年の家 電話:0859-53-8030 FAX:0859-53-8265	参加費用:無料 (一部コーナー有料)
4月下旬の日曜日	船上山さくら祭り	10時~14時	船上山万本公園 船上山少年自然の家周辺	琴浦町役場農工観光課 電話:0858-55-7801 船上山少年自然の家 電話:0858-55-7111	
5月7日(土) 5月8日(日)	スキルアップセミナー①	7日 10時~ 8日 14時	船上山少年自然の家 おひのり周辺	船上山少年自然の家 電話:0858-55-7111 FAX:0858-55-7119	対象:県内外の大学生 申込:4月下旬
5月7日(土) 5月8日(日)	親子エンジョイカヌー 両日とも日曜日	9時~15時30分	大山町 赤松の池	大山青年の家 電話:0859-53-8030 FAX:0859-53-8265	参加費用:800円 対象:小学生以上の親子 定員:60名 申込:4月22日(金)必着
5月21日(土)	大山ファミリー登山	8時~16時	大山下山 キャンプ場集合	大山青年の家 電話:0859-53-8030 FAX:0859-53-8265	参加費用:一人50円 対象:家族50名(小学生は3年生以上) 申込:5月7日(土)必着

よりよい紙面づくりのために
ご意見をお寄せください。

問合せ先 送り先

〒680-8570(住所記載不要) 県教委教育総務課
電話 0857(26)7926 FAX 0857(26)8185 E-MAIL kyouikusoumu@pref.tottori.jp
バックナンバーはホームページをご覧ください。 <http://www.pref.tottori.lg.jp/yumehiroba>

教育だより
とっとり

夢ひろば!

Vol.81
平成28年2月
編集発行
鳥取県教育委員会
年5回発行

Tottori Yume-Hiroba!

目次

未来の主権者を育成する学習の充実に取り組んでいます	1	シリーズ 県立高校の取組(鳥取商業高等学校)	5
平成27年度 インターネット利用に関するアンケート結果	2	シリーズ 鳥取県のエキスパート教員(南部町立意見見小学校)	5
中学生ポップコンテスト 上原投手にインタビューしました!!~読書は大切な時間~	2	シリーズ プロが教える文化遺産のツボ 指定文化財と登録文化財とヘリテージマネージャー	5
ひとつの勇気からSTOPいじめへ	3	<子ども県政コーナー> 大山隠岐国立公園指定80周年	6・7
幼児教育と小学校教育の円滑な接続をめざす取組	3	<トピックコーナー>	8
第35回近畿高等学校総合文化祭鳥取大会が大成功!!	4	●ご存知ですか?脳脊髄液減少症 ●平成28年夏、鳥取県でインターハイを開催します!	
鳥取県特別支援学校技能検定開催!	4	●お知らせ・イベントコーナー	



未来の主権者を育成する 学習の充実に取り組んでいます

平成28年7月の国政選挙から、選挙権年齢が満18歳以上に引き下げられることになりました。県教育委員会では、県や市町村の選挙管理委員会と連携した主権者教育の取組に力を入れ、未来の主権者として必要な力を育成する学習に取り組んでいます。



主権者教育をととして育みたい「未来の主権者として必要な力」

- (1)論理的思考力(根拠をもって主張し他者を説得する力)
- (2)現実社会の諸課題について多面的・多角的に考察し、公正に判断する力
- (3)現実社会の諸課題を見出し、協働的に追究し解決(合意形成・意思決定)する力
- (4)公共的な事柄に自ら参画しようとする意欲や態度

このような力を育むための学習方法

- (1)「正解が一つに定まらない問いに取り組む学び」
 - (2)「学習したことを活用して解決策を考える学び」
 - (3)「他者との対話や議論により、考えを深めていく学び」
- 上記のような学習活動を行うことにより、具体的な政治的事象を題材とした実践的な内容に取り組んでいます。

副教材「私たちが拓く日本の未来」より

県立学校の取組

模擬選挙や投票体験、選挙管理委員会の出前授業、議会傍聴等の取組に加えて、文部科学省が配布した副教材「私たちが拓く日本の未来」を活用した主権者教育の学習に取り組んでいます。また、高校3年生には、リーフレット「政治と選挙」を配布して、今年の選挙や投票に必要な基礎的な知識について理解を深めます。



モデル校で実施した模擬選挙の取組

今年度、3つのモデル校をはじめとする多くの高校で県選挙管理委員会の出前授業や模擬選挙授業を実施しました。県選挙管理委員会職員による選挙や投票についての出前授業では、まず、選挙クイズを交えながら、理解を深めました。

吉吉東高校

米子東高校

その後、平成25年の衆議院議員選挙を題材として、政党の政策を比較するグループ活動を行い、どの政党に投票するかについて、選挙公報を読みながら、話し合いました。

鳥取東高校

実際の投票箱を使った模擬選挙を行い、選挙管理委員会による開票作業や、投票用紙を数える機械を見ました。実施後のアンケートには、「投票は簡単で、選挙への不安がなくなった」「日ごろからニュースや新聞を目にしようと思った」などの感想があり、高校生の関心の高まりが感じられます。

智頭農林高校では、生徒が「木のアトラクションで子どもの遊び場をつくる」等の地域活性化プラン3案を作成し、それぞれについて代表者がプレゼンテーションを行った後、選挙管理委員会と連携して、住民投票型の模擬投票を実施しました。

プレゼンテーションの様子

未来の主権者を育成する学習プログラム ~小学校から高校まで~

鳥取県教育委員会

小学校から高校までに取組む主権者教育の学習内容	
主に教科等で理解を深めさせる取組 公職選挙法や選挙の仕組み	主に体験的に学ぶ取組 民主政治の基本である話し合い・討論 模擬選挙、模擬議会等の実践的活動
政治参加の重要性について自覚を深めさせること(高・公民) 例)選挙や投票の実際、選挙運動と政治活動	民主政治の手続きとしての話し合い活動により、集団の成員の総意の下で取り組むこと(高・特別活動) 例)話し合い、討論、ディベート、地域課題を考える
民主政治の推進と、公正な世論の形成や国民の政治参加との関連について考えさせること(中・社会)	民主政治の意義などについて、個人と社会とのかかわりを中心に理解を深め、自ら考えようとする態度を育てること(中・社会) 例)生徒総会や生徒会役員選挙、生徒評議会や各種の委員会の活動(高・特別活動)
楽しい学級生活を作るためのよりよい集団決定ができるようにすること(小・特別活動)	日常生活における政治の働きと我が国の政治の考え方を理解できるようにすること(小・社会) 例)児童会・生徒会選挙による、児童会・生徒会役員の決定(小中・特別活動)

小中学校の取組

全校代表委員会を全校児童が傍聴したり、意見交換したりする取組を行いました。「はまっ子フェスティバルのスローガン」について発表し、児童は折り合いのつけ方や話し合いのあり方について学んでいます。



鳥取市立浜村小学校での全校代表委員会



米子市立美保中学校での取組

学校行事や生徒会活動で、異学年集団での話し合い等とおとした取組を行いました。生徒同士がつながる集団づくりや、一人一人が参画意識と自己有用感をもって集団に寄与する力の育成をめざしています。

問合せ先 県教委高等学校課 電話 0857(26)7916 FAX 0857(26)0408